



2016年3月期 第1四半期 連結決算概況

マルハニチロ株式会社



1. 連結損益計算書



(単位: 億円)

	15年6月期	14年6月期	増減	年間予想	達成率
売上高	2,153	2,053	100	9,000	24%
売上原価	1,877	1,774	104		
売上総利益	276	279	△ 4		
販売費・一般管理費	248	239	9		
営業利益	28	41	△ 13	155	18%
営業外収益	14	14	△ 0		
営業外費用	8	15	△ 7		
経常利益	34	40	△ 6	145	23%
特別利益	14	0	14		
特別損失	7	0	7		
税金等調整前四半期純利益	41	40	1		
法人税等	15	△ 6	21		
四半期純利益	26	46	△ 21		
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	7	△ 3		
親会社株主に帰属する四半期純利益	22	39	△ 17	70	31%

当社グループは、中期4ヵ年経営計画「Challenge toward 2017」で掲げた信頼回復と成長路線の遂行に向け取り組んでいます。

当該期間の実績は、前年対比で売上高は5%の増加。原料価格の高騰等に伴い営業利益は32%減少、経常利益も同様に16%の減少となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年に比べ44%減少の22億円となり、年間計画70億円に対し31%の進捗となりました。

マルハニチロ株式会社

2. 連結貸借対照表



(単位: 億円)

	15年6月末	15年3月末	増減		15年6月末	15年3月末	増減
流動資産	2,861	2,744	117	流動負債	2,657	2,488	168
現預金	139	140	△ 1	仕入債務	357	311	46
売上債権	1,067	1,013	55	短期借入金	1,893	1,764	128
たな卸資産	1,522	1,475	46	その他	407	413	△ 6
短期貸付金	10	10	1	固定負債	1,401	1,440	△ 39
繰延税金資産	30	31	△ 1	長期借入金	1,092	1,131	△ 39
貸倒引当金	△ 7	△ 7	0	その他	310	309	1
その他	99	83	16	負債合計	4,058	3,928	130
固定資産	2,291	2,276	15	株主資本	777	786	△ 8
有形固定資産	1,440	1,434	6	資本金	200	200	-
無形固定資産	244	271	△ 26	剰余金	578	586	△ 8
(内 のれん)	123	146	△ 22	自己株式	△ 0	△ 0	△ 0
投資その他資産	606	571	35	その他の包括利益累計額	114	103	10
				非支配株主持分	203	203	△ 0
				純資産合計	1,094	1,092	2
資産合計	5,152	5,020	132	負債純資産合計	5,152	5,020	132

総資産は売上債権及びたな卸資産の増加などにより、前連結会計年度末から132億円増加しました。
負債総額は仕入債務及び借入金の増加により、130億円増となりました。

マルハニチロ株式会社

3. ユニット別実績

(単位: 億円)

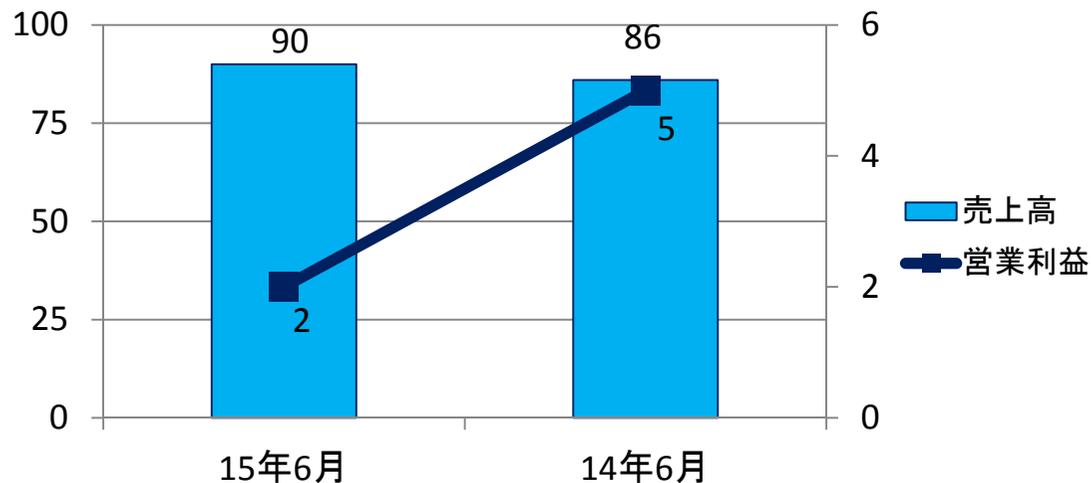
	売上高					営業利益				
	15年6月	14年6月	増減	年間計画	進捗率	15年6月	14年6月	増減	年間計画	進捗率
漁業・養殖ユニット	90	86	4	394	23%	2	5	△3	13	18%
水産商事ユニット	180	186	△6	673	27%	7	8	△1	20	34%
荷受ユニット	592	591	1	2,553	23%	3	2	0	9	29%
畜産商事ユニット	131	120	11	507	26%	1	2	△1	3	19%
戦略販売ユニット	192	176	16	726	26%	2	1	1	3	63%
海外ユニット	128	116	13	700	18%	7	9	△2	49	14%
北米ユニット	258	215	43	1,020	25%	△0	7	△7	21	-
冷凍食品ユニット	378	351	27	1,562	24%	1	1	1	10	15%
加工食品ユニット	141	152	△11	613	23%	△3	1	△4	3	-
化成ユニット	12	11	1	51	24%	2	1	1	7	29%
物流ユニット	39	37	2	151	26%	4	1	3	11	36%
その他	10	11	△1	50	20%	0	2	△2	6	8%
全社	-	-	-	-	-	1	△0	1	△0	-
合計	2,153	2,053	100	9,000	24%	28	41	△13	155	18%

3. ユニット別実績(漁業養殖・水産商事)



漁業・養殖ユニット

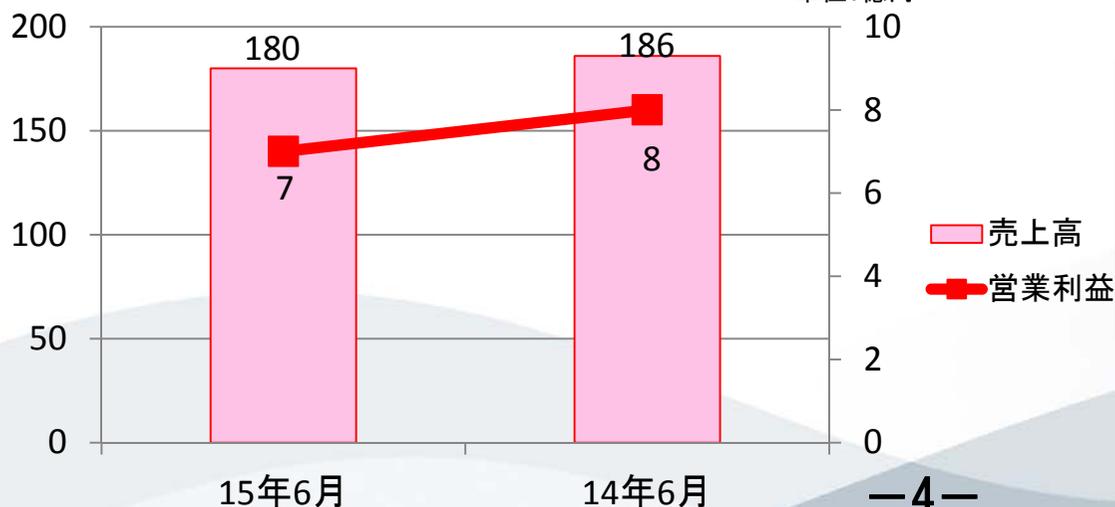
単位: 億円



漁業は、海外事業が好調ながらまき網漁業が漁獲不振で減収減益。
 養殖は、マグロ相場堅調ながらブリ単価下落、カンパチ原価上昇で増収減益。全体として増収減益。

水産商事ユニット

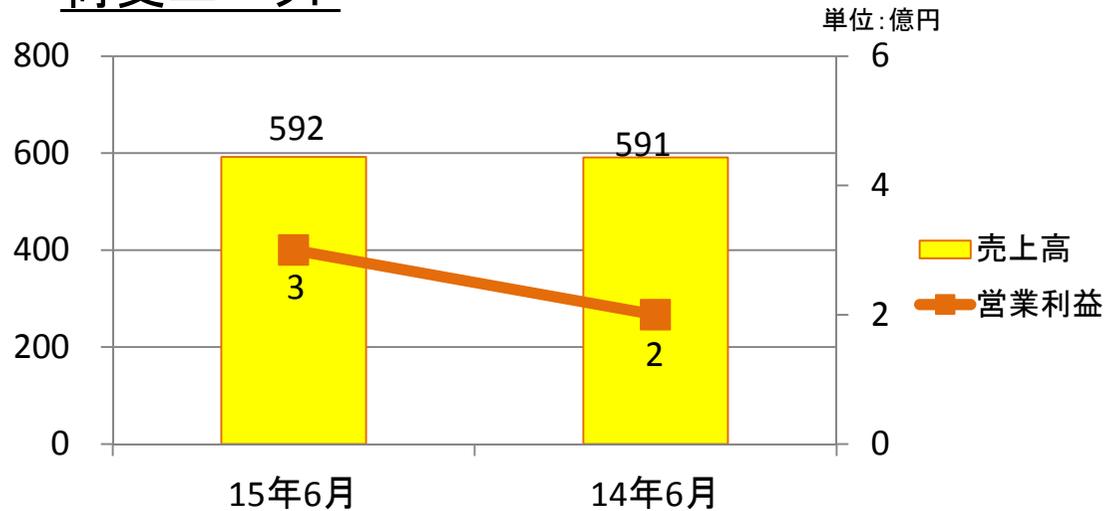
単位: 億円



主要魚種高値による荷動き鈍化、円安および海外需要増により仕入コストが上昇。減収減益。

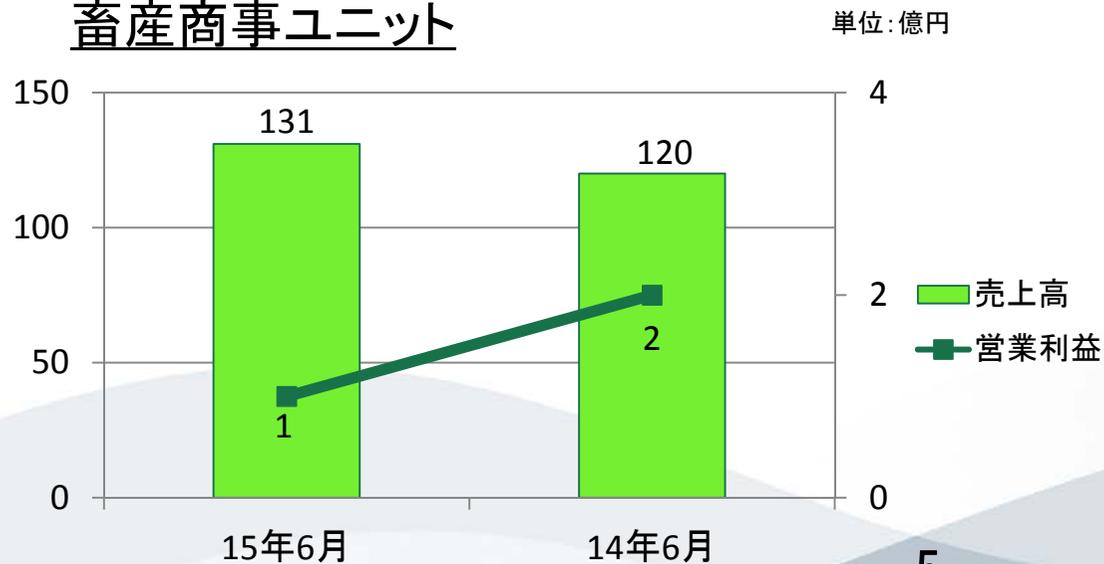
3. ユニット別実績(荷受・畜産商事)

荷受ユニット



単価高が続くなか積極的な集荷販売を進めた結果、売上高は前年並み。コスト削減と利幅確保に努め増益。

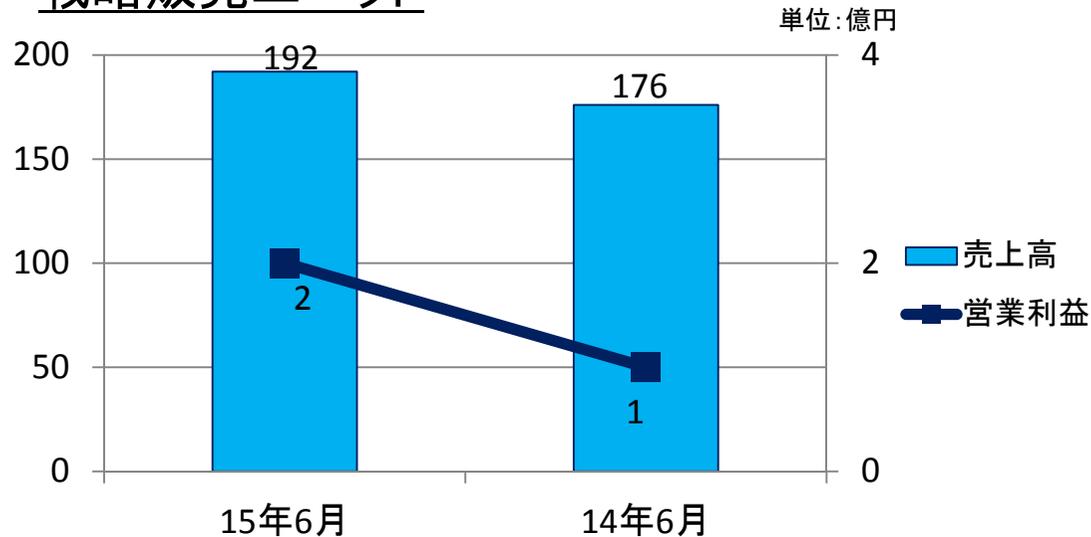
畜産商事ユニット



畜産品全般の販売価格が堅調に推移したものの、輸入豚肉の利益率低下により、増収減益。

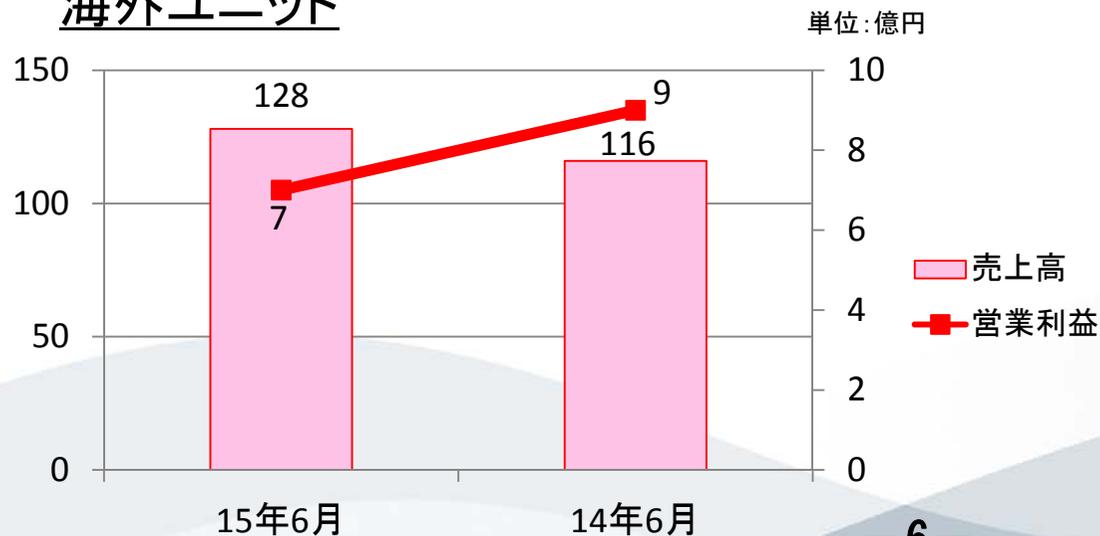
3. ユニット別実績(戦略販売・海外)

戦略販売ユニット



エビ、貝類、凍魚などの主要魚種において原料価格の高値が続いたものの、量販店、外食、中食業界向け販売が好調に推移し、増収増益。

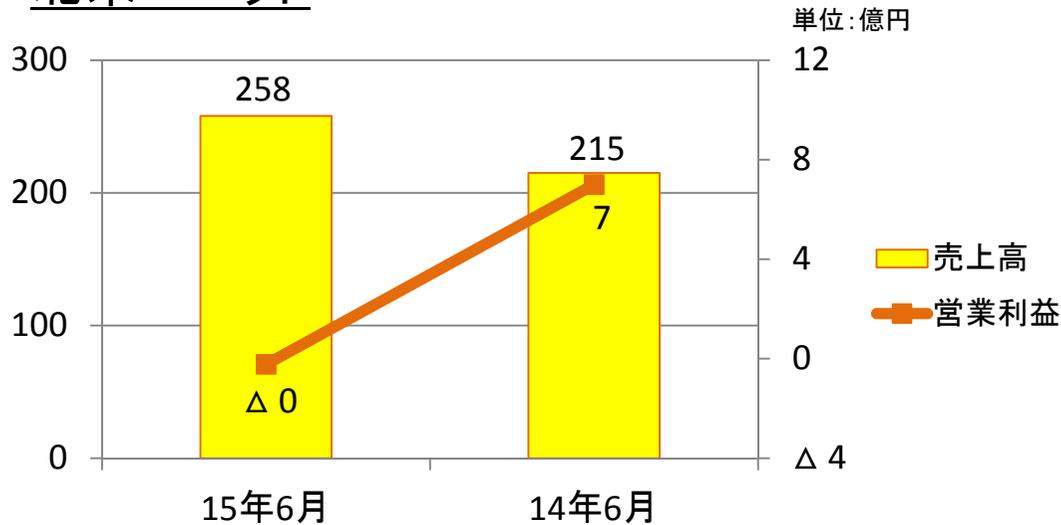
海外ユニット



子会社化した豪州漁業会社の業績が貢献したものの、タイで製造するペットフードの対欧州販売不振により、増収減益。

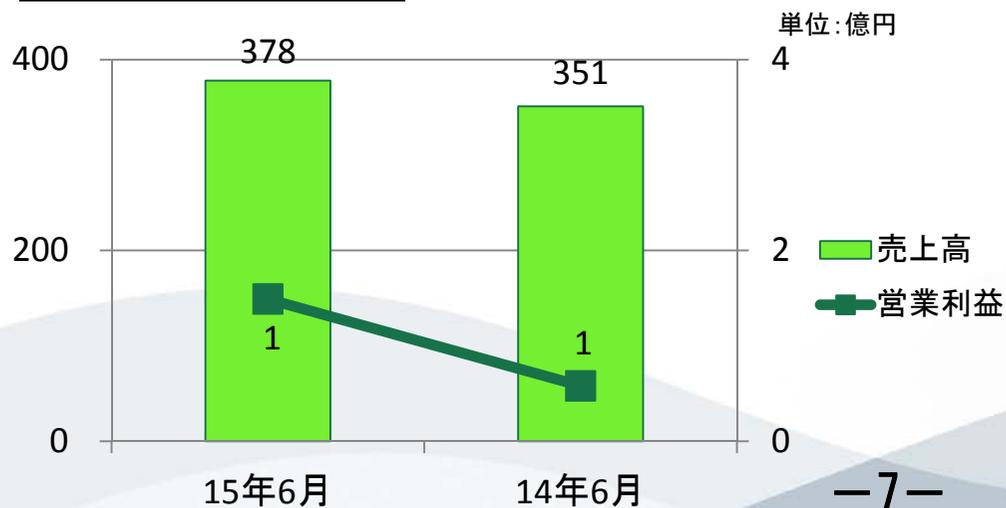
3. ユニット別実績(北米・冷凍食品)

北米ユニット



助宗すりみの価格上昇、欧州水産物販売会社の販売が好調に推移したものの、米国産鮭鱒缶詰および冷凍鮭鱒の相場下落により、增收減益。

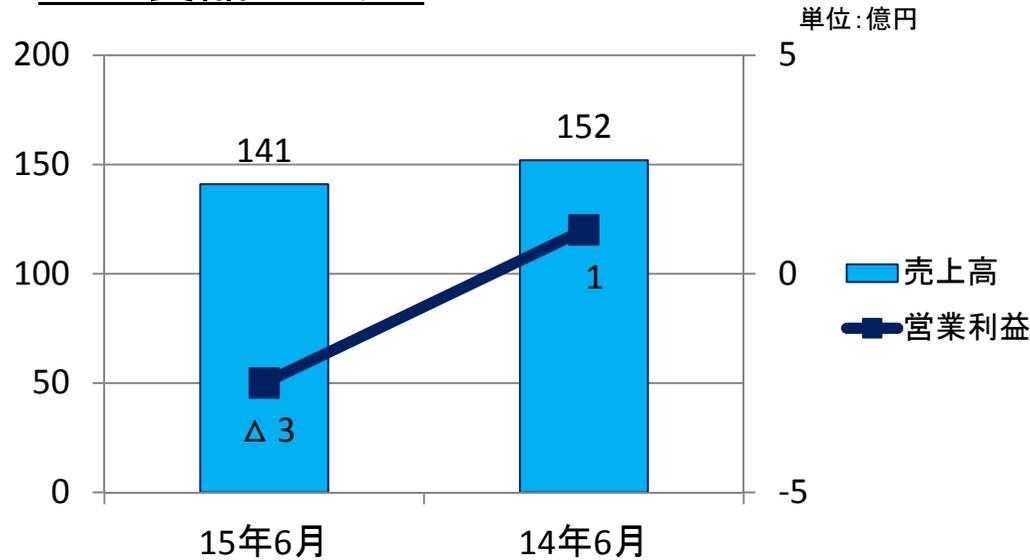
冷凍食品ユニット



市販用新商品および群馬工場再稼働による販売増、円安による輸入商品、原材料コストアップに対する価格改定が進み、增收増益。

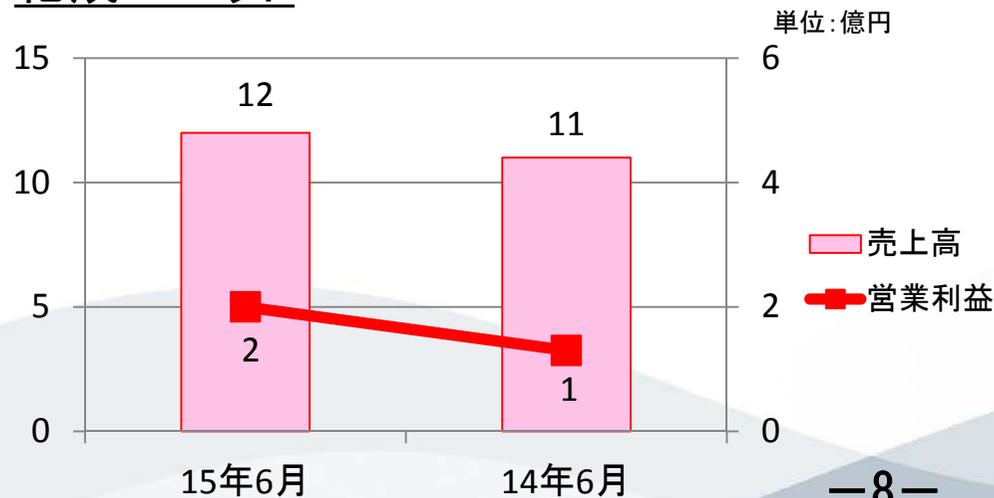
3. ユニット別実績(加工食品・化成)

加工食品ユニット



缶詰の価格改定による売上数量の減少、デザート類の販売不振等により、減収減益。

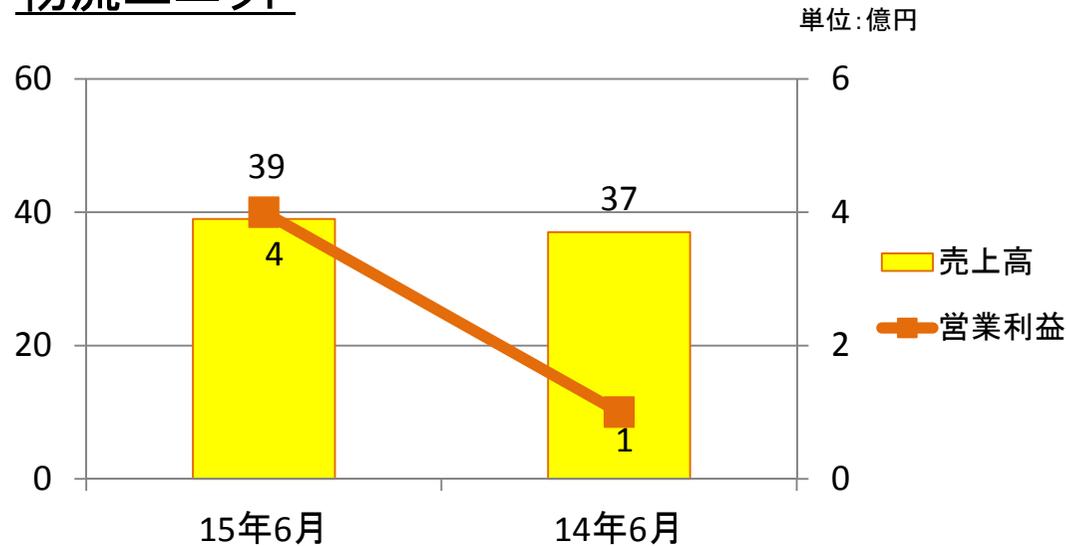
化成ユニット



医薬品用コンドロイチンの売上数量が減少したものの、DHA・EPA、サケ白子関連製品の販売好調により、増収増益。

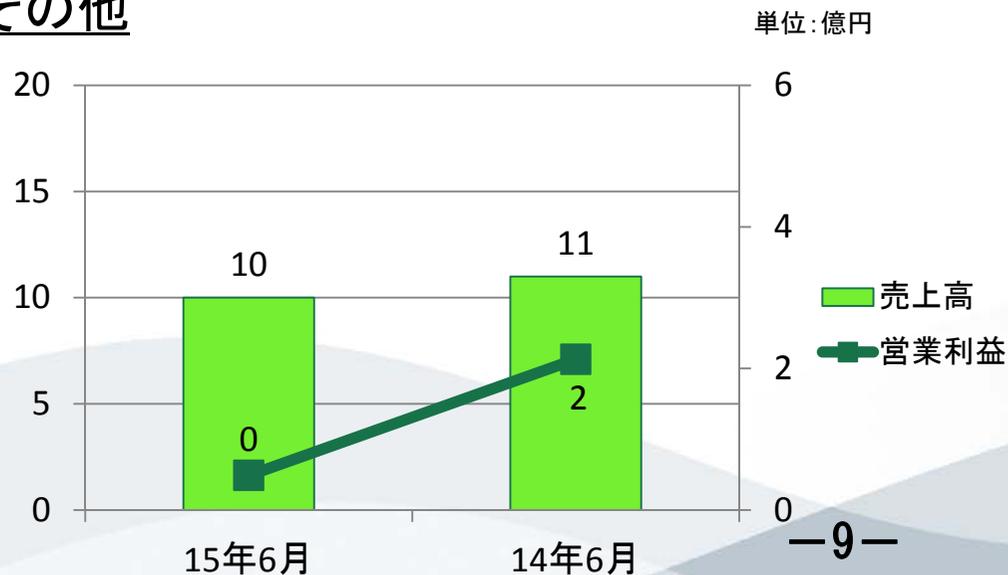
3. ユニット別実績(物流・その他)

物流ユニット



畜産品を中心とした高水準の在庫と好調な荷動きに加え、輸配送事業の料金適正化に努めた結果、増収増益。

その他



世界に美味しいしあわせを

当資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点で入手できる情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は様々な重要要素により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。また、本資料は著作権やその他本書類にかかる一切の権利はマルハニチロ株式会社に属します。

MARUHA NICHIRO